

# 防災会だより

第10号

発行 恵み野南  
自主防災会  
連絡先：内之段  
(0123-37-8030)

【今回は、防災に関する豆知識を紹介します】

- 1 食料は、ローリングストック(日常の食材を少し多めに買っておき、消費した分を買い足していく備蓄方法)で、無駄なく備蓄する。 → キャンプ用の大きめの保冷剤を冷凍庫に入れておくと、停電になっても2日程度は保冷を保てる。
- 2 キッチンバサミがあれば、まな板無しでも調理ができる、食器をラップで覆えば洗い物を減らせる
- 3 飲料水は、3ℓ／日／人を目安に。  
→ 「はなふる」にある市の緊急貯水槽は、3ℓ／日／人で1万人分を3日間貯える。
- 4 ポリ袋は、手袋の代わりになり、新聞紙と合わせて食器の代用品も作れて、御飯や蒸しパンも作れる等、用途がたくさんあるので多めにストックしておくとよい。
- 5 ゴミ袋(40ℓ)は、簡易的な防寒具やレインコートにもなれば、細かくちぎった新聞紙と合わせて簡易トイレも作れるので、これも多めにストックしておくとよい。  
→ 用を足した後に、乾燥剤等で乾燥できれば可燃ごみで、できない場合は不燃ごみで処理。
- 6 携帯ガスボンベは、燃焼時間は約1時間。 室温が10℃以下で気化しにくくなり、5℃以下でほぼ気化しなくなる。(使えない)
- 7 段ボール箱は、布団代わり、室内の保温及び防音に活用できる。(用済後は、資源回収へ)
- 8 スキーウエアやレインコートは、防寒対策に有効。 → 捨てずに、持つておくと役に立つ。
- 9 懐中電灯は、水を入れたペットボトルでルームライトに。
- 10 蓄光シールを、階段やドアノブ付近に貼つておくと、暗闇での行動が容易。
- 11 ドアの前やベッド側に倒れるような位置に、背の高い家具の配置はしない。
- 12 棚の収納では、「重い物を下」に置くのが基本。また、扉の開放防止にはS字フック等が有効
- 13 お風呂のお湯を溜めておくと安心。
- 14 現金は、小銭を多めに準備しておくと便利。
- 15 道路が冠水している場合、下水道が機能していることを確認してからトイレを使用すること。
- 16 避難者カードや非常用持出し袋は、玄関若しくは玄関横等の持出しやすい場所に置く。

